

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	患者申出療養に関する経費			担当部局庁	保険局			作成責任者		
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療課			迫井 正深		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	・日本再興戦略 改訂2014(平成26年6月24日)					
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3程度以 内)	患者申出療養に係る患者の申出に対応するため、困難な病気と闘う患者のニーズに応えることができるよう、国内未承認医薬品等に関する情報収集調査や、患者申出の窓口の体制整備を行うことを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	患者申出療養評価会議等における審査運営業務等を支援するとともに、患者申出療養として認められた医療技術について、厚生労働省ホームページを通じた広報等に用いるデータベース等の作成等を行う。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	55	55			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	0	55	55			
	執行額	0	0	0						
	執行率 (%)	-	-	-						
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
				-	-	-	-	-		
				成果実績	%	-	-	-	-	-
				目標値	%	-	-	-	-	-
達成度	%	-	-	-	-	-				
定量的な目標 が設定できな い理由及び定 性的な成果目 標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績						
	患者申出療養評価会議等における審査運営業務等を支援するとともに、患者申出療養として認められた医療技術について、厚生労働省ホームページを通じた広報等に用いるデータベース等の作成等を行うが、患者からの申出により上記会議が開催されるため、会議の支援および広報の目標を定量的に設定することは困難と考える。			患者申出療養に関する会議の適切な運営や事前広報、海外における臨床研究計画の調査、相談窓口体制の強化等により、患者からの申出に先んじて、迅速に対応する体制を整備する。 達成状況・実績については、H28年度より事業を開始しており、H27年度までは実施していない。						
事業の妥当性 を検証するた めの代替的な 達成目標及び 実績	代替目標	代替指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度		
				-	-	-	-	-		
				実績	件	-	-	-	-	-
①患者からの申出により患者申出療養評価会議を開催するが、同会議を速やかに開催し、申出のあった技術について6週間以内の告示を目指す。	申出後、6週間以内に告示できた技術数。	目標値	件	-	-	-	-	3		
達成度		%	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-			
事業の妥当性 を検証するた めの代替的な 達成目標及び 実績	代替目標	代替指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度		
				-	-	-	-	-		
				実績	件	-	-	-	-	-
②患者からの相談を受ける窓口である臨床研修中核病院等において相談時の参考となる未承認医薬品リスト等を作成する。	作成した医薬品リスト数	目標値	件	-	-	-	-	1		
達成度		%	-	-	-	-	-			

定量的な成果目標の設定が困難な場合

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	患者申出療養評価会議の開催およびリスト作成に必要な額を支給する。	活動実績 当初見込み	件	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	単位当たりコスト	単位当たりコスト 計算式	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	①単位当たりコスト=X/Y X=申出技術を告示するまでに要する費用 Y=会議開催回数	単位当たりコスト 計算式	100万円 X/Y	-	-	-	15 45/3
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	②単位当たりコスト=X/Y X=リスト作成費用 Y=リスト作成数	単位当たりコスト 計算式	100万円 X/Y	-	-	-	10 10/1

平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	医療給付適正化業務庁費	55	55	「新しい日本のための優先課題推進枠」55
	計	55	55	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること							
	施策	施策目標 I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	-								
	改革項目	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-
目標値		-	-	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	患者申出療養に関する支援業務を行うことは、困難な病気と闘う患者の思いに応え、先進的な医療について、患者の申出を起点とし、安全性・有効性等を確認しつつ、身近な医療機関で迅速に受けることにつながるため、本事業は国費を投入して実施すべきである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	患者申出療養に関する支援業務を行うことは、国において安全性・有効性等を確認すること、保険収載に向けた実施計画の作成を臨床研究中核病院に求め、国において確認するため、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	患者申出療養に関する支援業務を行うことは、保険適用につなげるためのデータ、科学的根拠を集積する観点から優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	所管府省・部局名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	-		
	改善の方向性	-		
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--

備考

--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

(平成28年度予定)

厚生労働省
55百万円

事業の企画、全体調整等、事業全体の進行管理



選定業者
55百万円

患者申出療養に関する支援業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

